

広島大学基本理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。

- 平和を希求する精神
- 新たなる知の創造
- 豊かな人間性を培う教育
- 地域社会・国際社会との共存
- 絶えざる自己変革

人間社会科学研究科の基本理念

人間社会科学研究科の目的は、人間や社会の持続的発展や平和の実現の観点から、これからの社会の指針—例えば、科学技術により何ができるかではなく、何をすべきかすべきでないか—となる新しい価値や知識を創造し、提案することです。

また、広島大学新長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」で謳う「多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現」のためには、教育の果たす役割はとて大きなものになります。広島大学はこれまで、幼児教育から高等教育にいたる、学校教育のみならず家庭教育から社会教育までをカバーする教育の専門家、実践家を多数輩出してきています。また、日本国内に限らず、アジアやアフリカ諸国における教育開発や教育に携わる人材の育成に大きく貢献してきました。

これらを踏まえ、広島大学が世界の平和の構築に貢献するために、本研究科では、持続可能性の基本となる国内外の初等教育から高等教育への関与（研究、実践及び人材育成）も目的としています。すなわち、本研究科は、人間と社会のための諸科学の追求と、教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという2つのミッションを有し、人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材を育成することを目的にしています。